

## 未成年者の飲酒防止に関する緊急アピール宣言決議

本県の少年の不良行為による補導人員は、昨年約3万8000人と過去最多となった。

特に、飲酒による補導人員は、人口比で全国平均の約10倍という高い水準にあり、今年10月末の沖縄警察署管内の飲酒による補導人員は249人で、前年同期比47人増加するなど、未成年者の飲酒問題は極めて憂慮すべき状況にある。

未成年者の飲酒は、身体に悪影響を及ぼすだけでなく、急性アルコール中毒による生命への危険性や事件、事故の当事者となり得るなど、未成年者自身のみならず、地域社会への影響は図り知れないものがある。

子どもは大人の後ろ姿を見て育つと言われており、未成年者の飲酒を防止するためには、大人が襟を正し、模範を示すことが求められている。

よって、北谷町議会は、未成年者の飲酒を防止するため、次のスローガンを掲げ、未成年者の飲酒問題に対し、危機感を持って臨み、関係機関、団体との連携強化等により、未成年者の飲酒を防止し、将来を担う青少年が健やかに育成できる社会環境づくりに率先して取り組むことを宣言する。

- 1 保護者の皆様には、会話のある明るい家庭を築き、基本的な生活習慣を確立させ、未成年者の飲酒を止めよう。
- 2 町民の皆様には、大人が襟を正し、毅然とした態度で未成年者の飲酒を止めよう。
- 3 酒類販売、提供業者は、年齢確認を行い、未成年者には酒類の販売、提供を止めよう。
- 4 関係機関、団体は、未成年者の飲酒防止のため、連携して実効ある取り組みをし、未成年者の飲酒を止めよう。

以上、決議する。

平成19年12月21日  
沖縄県中頭郡北谷町議会